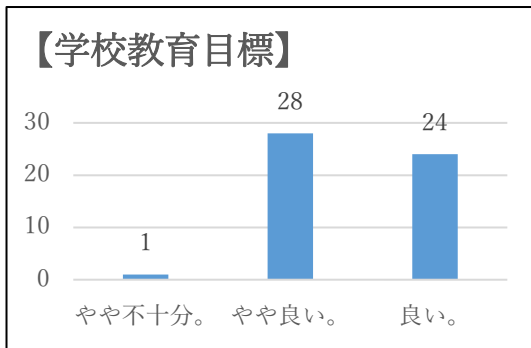


令和3年度学校評価 教職員回答まとめ (有効回答:/Forms:53)

【設問1】 小学部：21 中学部：10 高等部：21 その他：1 (回答者の内訳)

支援や指導に関すること

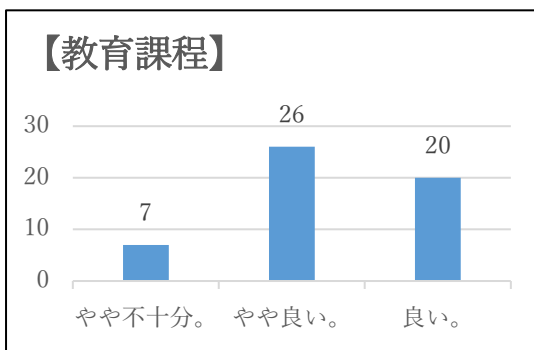
【設問2】 学校教育目標の具現化へ向け教職員が一体となって取り組んでいる。



【設問3】 上記の設問2について、「やや不十分」と「不十分」と回答された方は、その課題、要望、改善策(要点のみ)をご記入下さい。

- ・教職員が一体となって取り組んでいる」とは具体的にどのようなことを指すのか、明確になっていない。各担当毎に学校教育目標から各学部、学級、児童生徒個人へ目標をおろし、目標を立てていると思うが、それをどのように評価するのでしょうか。

【設問4】 教育課程は、児童生徒の実態等に即し、適切に編成されている。

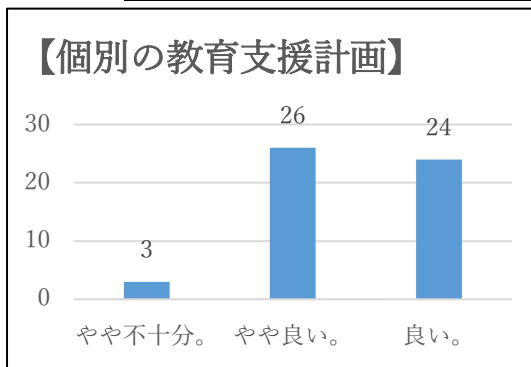


【設問5】 上記の設問4について、課題、要望、改善策。

- ・進学コースと就労コースなど、I課程の中でももう少し柔軟な課程があってもよいかもしれない。(I課程として扱うかはわからないが・・・)
- ・I課程は、大学進学向けに設定されているので、就労や生活介護系に進む生徒にとっては、内容が厳しい。もっと生徒の実態や進路に応じたゆったりした教育課程もつくった方がよいと思う。

- ・取り扱うべき授業内容と授業時数が全児童生徒の実態に即しているとは言えない。
- ・高等部I課程2年生に進級した際、理系、文系に分けているが、大学進学という形での一本化ができないか？
- ・各教科等を合わせた指導の「内容」を検討する必要がある。(合わせた指導は必要)
- ・高等部I課程は現在、理系・文系の選択となっているが、進学コース・社会自立コースなどに分け、より進路に適した教育課程になるよう改善が必要ではないか？
- ・合わせた指導で取り組んでいる内容が教科に戻せるものもあるのではないかと検討が必要な部分がある。

【設問6】 児童生徒の実態と教育的ニーズを把握し、保護者や関係機関等と十分に連携して計画されている。

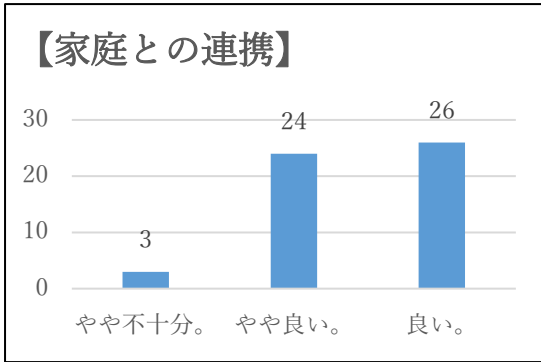


【設問7】 上記の設問6について、課題、要望、改善策。

- ・コロナ禍の影響もあり、保護者や関係機関等と直接的な話し合いの場を持つことが難しかった。今後は以前のように綿密な話し合いの場が持てるようになってほしい。
- ・年度や学期をまたぐ際、生徒の成長や課題をきちんと振り返り、次に向けて関係する職員らとしっかり話し合いができていだろうか。とくにIIc・III課程の生徒については、時間を設けて関係職員らで意見・情報交換をする必要がある。

- ・コロナのため、訓練の担当者との連絡が取りにくかった。

【設問 8】 児童生徒の支援や指導について、保護者に十分な説明がなされ、良好な信頼関係を築くことができている。

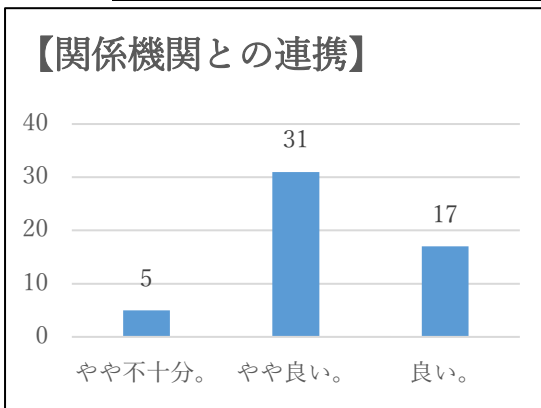


【設問 9】 上記の設問 8 について、課題、要望、改善策。

- ・コロナ禍の影響もあり、保護者と直接的な話し合いの場を持つことが難しかった。文面でのやりとりだけでは難しいのではないだろうか。
- ・医ケア児童の保護者と職員、養護教諭と看護師とで支援の方向性で食い違ったり、共有できていない事例がある。どちらも望ましい支援を考えてのことと思われるので、連携して課題解決に向けて取り組んでほしいと思います。

- ・例えば、休校中に学校から出された課題に対し、いち保護者⇒PTA 会長へと「代弁」するような傾向がある。学校側も保護者との信頼関係を構築するよう努力が必要だが、保護者側にも直接担任・担当と相談するような働きかけが必要ではないか？「会話」をすればすぐに解決するような小さなことでも、「代弁」の形になるとおおごとになり、誰のことかも分からず、疑心暗鬼になるのでは・・・。

【設問 10】 児童生徒の適切な支援や指導について常に追究し、関係機関と緊密な連携と協働が図られている。



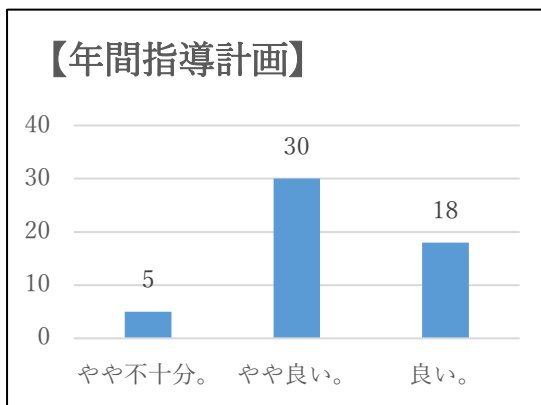
【設問 11】 上記の設問 10 について、課題、要望、改善策。

- ・コロナの影響もあり直接やりとりすることができなかつたが、Zoom などオンラインを活用して情報共有することができた。センターやデイサービスとの連携が必要だと感じた。
- ・コロナの関係もあり訓練の見学などが制限され、速い段階での見学等ができなかつたため。(オンライン授業など、連携の面で評価すべき点もある)
- ・デイサービスの方と生徒の中心課題やその指導について共有する場面がなかなか持てない。下校時の引継ぎは体調面に関してくらいなので。

共有する場面がなかなか持てない。下校時の引継ぎは体調面に関してくらいなので。

- ・医ケア児童の保護者と職員、養護教諭と看護師とで支援の方向性で食い違ったり、共有できていない事例がある。どちらも望ましい支援を考えてのことと思われるので、連携して課題解決に向けて取り組んでほしいと思います。
- ・コロナのため、訓練の担当者との連絡が取りにくかつた。

【設問 12】 児童生徒の実態に即し、教科等の関連や系統性を踏まえながら、特色のある効果的な単元や題材が適切に計画されている。



【設問 13】 上記の設問 12 について、課題、要望、改善策。

- ・行事と行事の間の期間が短く事前・事後学習が十分にできず、指導が生徒に定着しません。さらなる行事精選をした方がよいと思います。
- ・職員研修の中で見直しを行っているが、今、研修で行っているような見直しを毎年行うとなると、負担に感じてしまう。だからと言って、年度末に現担任が年間指導計画を作成するとなると、年度末の負担増になり、また、新担任にとってはどう言った意図（目標）を持って取り組むのか曖昧になってしまいそう。

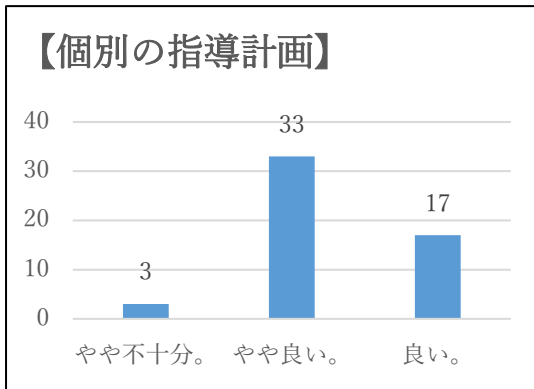
曖昧になってしまいそう。

- ・各教科との関連については、各教科担当と話し合う時間が少なく、教科指導の内容について十分な話し合

いができないまま進めてしまった単元もあった。

・今年度の研修で改善を行っている段階で、今後系統性を踏まえた単元設定など行っていく必要がある。

【設問 14】 児童生徒の実態に応じて、各教科の年間指導目標を踏まえ、段階的な学習目標や具体的な学習活動と手立てが適切に計画されている。

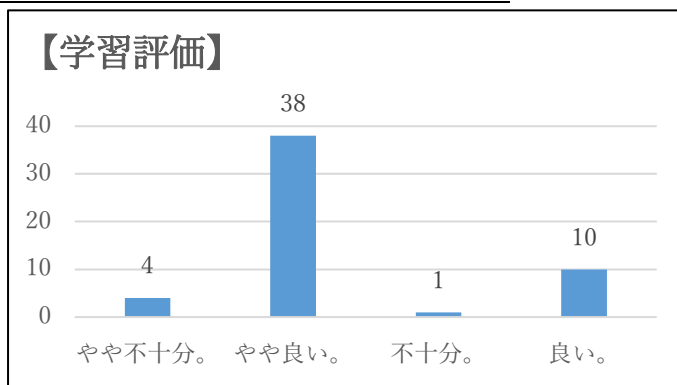


【設問 15】 上記の設問 14 について、課題、要望、改善策。

- ・とくに II・III 課程の生徒の目標は、担任や教科担当者のみで目標を立てるのではなく、「合わせた指導」を含めて関係する職員皆の視点で目標設定する必要がある。
- ・生徒の実態をもとに、段階的な学習目標や具体的な学習活動と手立てが適切に計画されているとはいえない。活動内容が先に決まっていた授業もあった。
- ・高等部のように教科制の学部では、時間割によって担当教諭が入れ替わる。特に合わせた指導では、担当する生徒の何が

課題で、何を目標にその時間の内容に取り組んでいるのか？が分からないまま授業を進めていないだろうか？今回の研修で取り組んだ内容を授業に落とし込む取り組みが必要ではないか？

【設問 16】 個別の指導計画に沿った目標準拠評価が行われ、関係者間（ヨコとタテの繋がり）で学習の成果と課題を共有し、引き継ぐ事ができている。

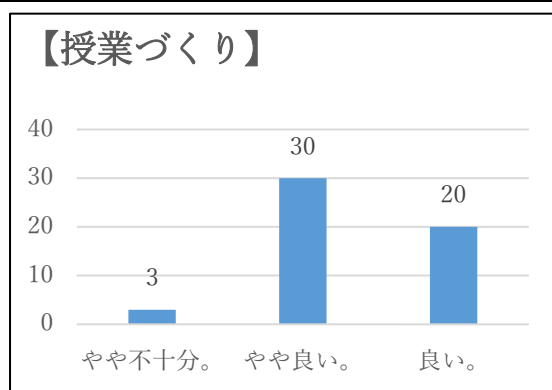


【設問 17】 上記の設問 16 について、課題、要望、改善策。

- ・これまでや前年度の通知表を確認はしているが、通知表では引き継ぐには成果と課題を把握しづらい。
- ・目標準拠評価では重複障害児は難しさを感じる。個人内評価の工夫について学校（または県レベル）での取り組みが必要。

- ・学年間、学部間でのタテのつながり。
- ・指導計画を作成しているが、その共有は不十分だと思う。方法や時間の取り方を考えたい。
- ・高等部のように教科制の学部では、時間割によって担当教諭が入れ替わる。特に合わせた指導では、担当する生徒の何が課題で、何を目標にその時間の内容に取り組んでいるのか？が分からないまま授業を進めていないだろうか？今回の研修で取り組んだ内容を授業に落とし込む取り組みが必要ではないか？

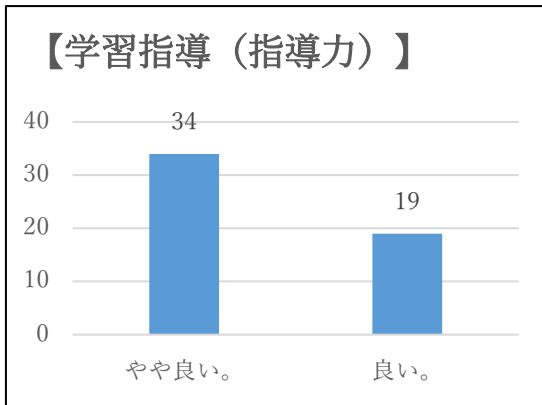
【設問 18】 学部、学年や学習グループ等で連携して授業の振り返りや教材研究に取り組み、課題を共有しながら、共同で効果的な授業づくりが行われている。



【設問 19】 上記の設問 18 について、課題、要望、改善策。

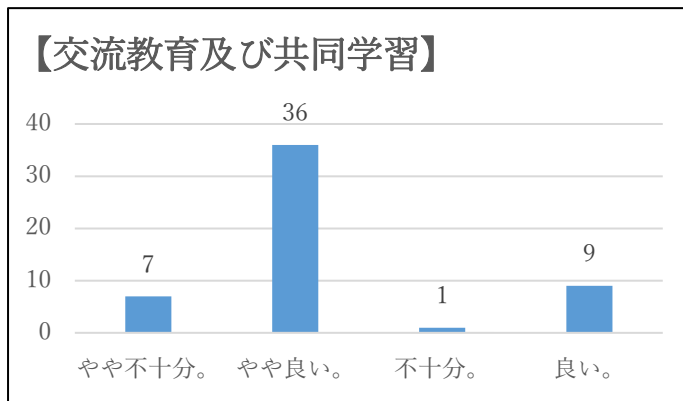
- ・時間がない。
- ・TT 会の時間を取りづらい。
- ・高等部のように教科制の学部では、時間割によって担当教諭が入れ替わる。特に合わせた指導では、担当する生徒の何が課題で、何を目標にその時間の内容に取り組んでいるのか？が分からないまま授業を進めていないだろうか？今回の研修で取り組んだ内容を授業に落とし込む取り組みが必要ではないか？

【設問 20】 児童生徒の実態や興味・関心に応じた手立て（教材・教具等）を工夫し、常に効果的な授業展開（実践）に努め、発生する課題に応じて授業改善が行われている。



【設問 21】 上記の設問 20 について、課題、要望、改善策。

【設問 22】 障がい者理解の促進に向けて、学校間交流や居住地校交流に積極的に取り組まれている。

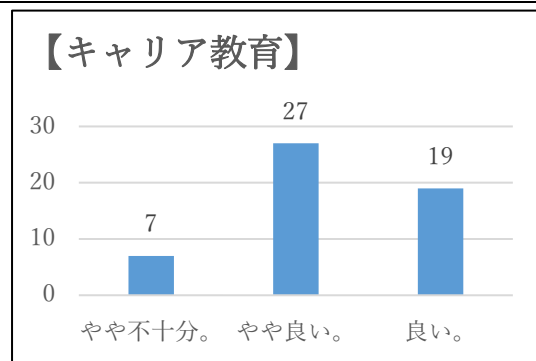


【設問 21】 上記の設問 20 について、課題、要望、改善策。

- ・コロナ禍で直接対面で行うことができていないので。
- ・コロナ禍の影響もあり、難しかった。今後は以前のような交流教育及び共同学習がなされることを期待する。
- ・高等部 2 学年 II 課程を担当しているが、交流の行事が無かった・・・。

- ・コロナで実施が難しかったり規模が縮小されている。
- ・コロナ対策のため交流ができなかった。
- ・今年度もコロナ渦にあり対面での交流ができないが、オンライン交流など実施可能な方法を模索しながら行っている。
- ・コロナ禍なので交流ができていない。収束したらまた以前のように交流学习ができるようになってほしい。
- ・コロナ禍の中、思うように計画通りの交流の場がもてなかった。

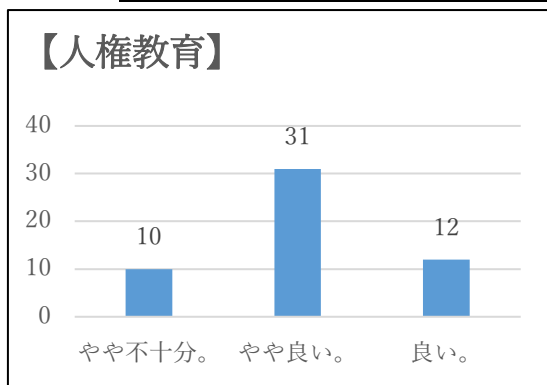
【設問 24】 障がい者を取り巻く地域社会の課題を踏まえ、児童生徒の自立（就労）と社会参加を見据えて、系統的なキャリア教育や適切な体験活動に取り組まれている。



【設問 25】 上記の設問 24 について、課題、要望、改善策。

- ・普段の授業の中での取り組みが少ないように思う。
 - ・キャリア教育の年間計画が共有されていない。小学部～高等部までの継続的な指導の計画について、学部間での情報共有がされていない。
 - ・コロナで実施が難しい。
 - ・今年度は体験活動など制限があったが、校外学習なども含めキャリア教育の視点で系統的に計画していく必要がある。
- ・取り組む努力はしているが、系統的なキャリア教育等難しい面あり。

【設問 26】 児童生徒の人権意識の育成を図るための取り組みを行っている。



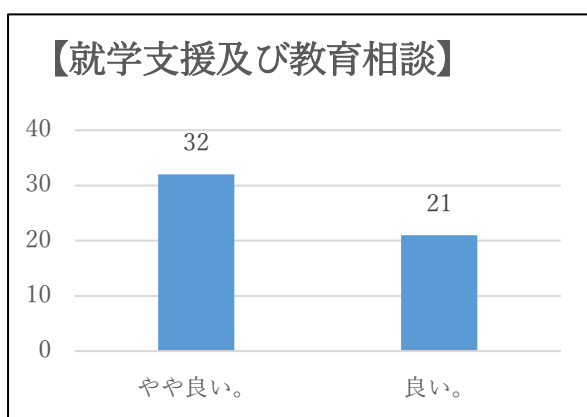
【設問 27】 上記の設問 26 について、課題、要望、改善策。

- ・人権意識の育成だけでなく、「特別な教科 道徳」と絡めて、高等部 3 年間でどのようなことを意識して指導するか「道徳教育全体計画」の見直しが必要。
- ・児童生徒の人権意識の育成のために、具体的な取り組みがあまりできませんでした。難しい内容ではありますが、わかりやすい教材の紹介などがあると取り組みやすくなるかもしれないと思います。

- ・発信がすくないような気がします。
- ・人権教育を含め、道徳教育の全体計画が周知・共有されていない。
- ・毎月の「人権の日」に、人権便りを発行し、人権についての啓発的な取り組みをしてはいかがでしょうか。
- ・児童の実態として人権意識をどう育てていくのか難しいが、工夫して取り組む必要がある。
- ・生徒の実態に合わせた人権意識の育成の取り組みが難しい。

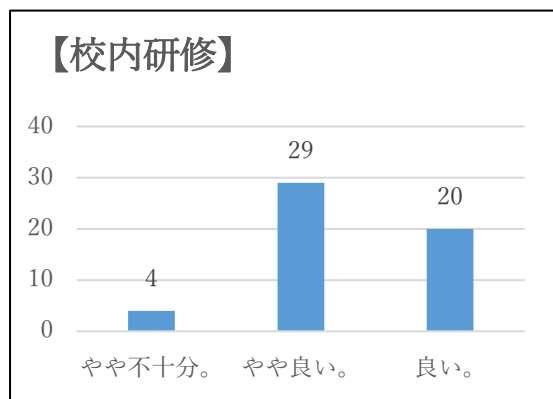
組織や運営に関すること

【設問 28】 地域のセンター校的役割を担い、就学指導（支援）や教育相談の充実に努めている。



【設問 29】 上記の設問 28 について、課題、要望、改善策。

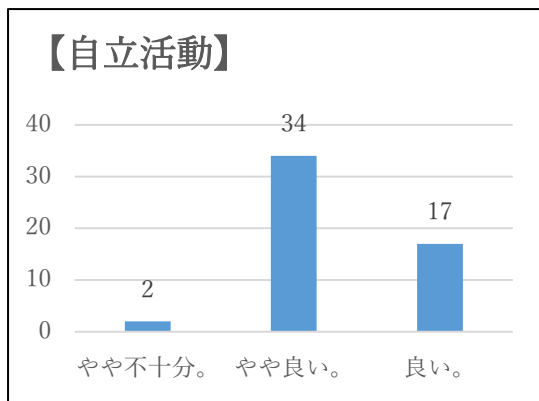
【設問 30】 問題を共有し、計画的に取り組みながら、教職員の専門性や指導力の向上を含めた課題解決が図られている。



【設問 31】 上記の設問 30 について、課題、要望、改善策。

- ・外部からの講演者を呼んだり、ICT 機器の活用等の研修が実践的にすぐ使える。
- ・今回のように、見直しを継続していくことは負担に感じてしまう。
- ・研修係も研修内容を模索しながらの研修になっていたように思える。研修の目的も共有しにくかった。
- ・今回の校内研修はややゴールが見えづらい感じがあった。

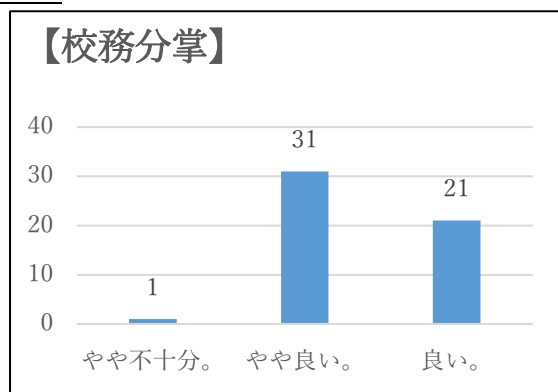
【設問 32】 自立活動に関する専門的知識の共有や実践研究が行われている。



【設問 33】 上記の設問 32 について、課題、要望、改善策。

- ・研修の必要性を感じる。
- ・自立活動部が週に一度自活学習会をしているが、どのような内容なのかわからない。学習会の成果があったのであれば、学部で共有してもらえるとありがたい。

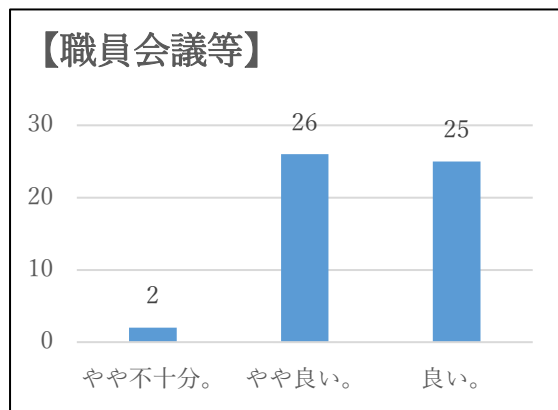
【設問 34】 適正に組織されており、全教職員が適材適所に配置され、機能的且つ効果的に業務が遂行されている。



【設問 35】 上記の設問 34 について、課題、要望、改善策。

- ・適材適所に配置しされているかは疑問だが、円滑な業務遂行のため個々人ができるかぎり努力していると思う。

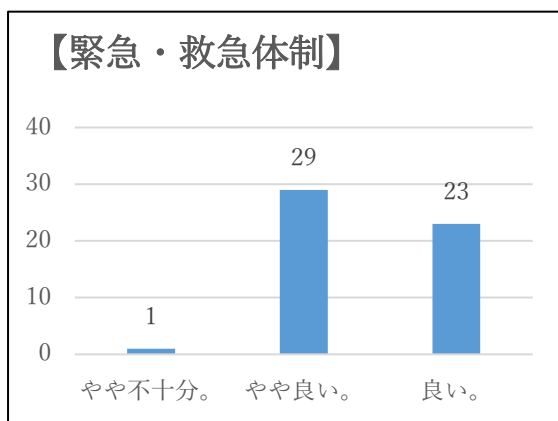
【設問 36】 職員会議や学部会等の諸会議によって、学校運営や学部運営を円滑にすすめることができている。



【設問 37】 上記の設問 36 について、課題、要望、改善策。

- ・運営は円滑であるが、職員会議は議論の場でなく確認の場になっている。それでいいのか疑問に思う。
- ・運営委員会でよく議論されているため、会議が資料の読み合わせの時間になっていた。合意形成の必要や検討事項が無い場合は、会議は不要だと思う。

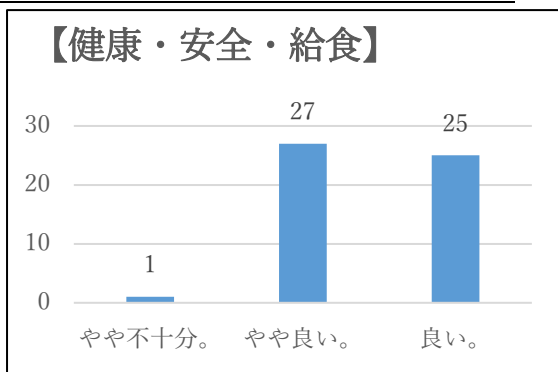
【設問 38】 非常時及び緊急時に必要で適切な対応を準備し、危機を回避できる体制が構築されている。



【設問 39】 上記の設問 38 について、課題、要望、改善策。

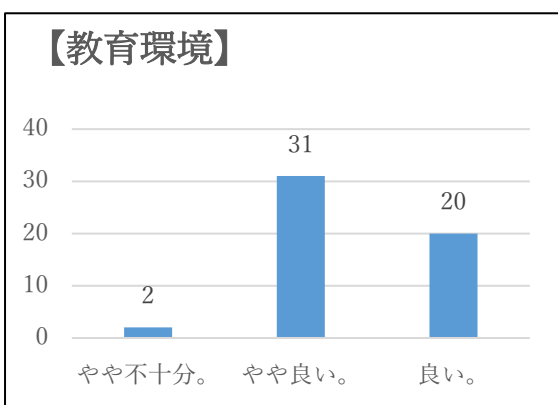
- ・体制としては整っている印象を受けるが、施設面では課題が多いように感じる。

【設問 40】 児童生徒の健康・安全・給食指導に関して、医療的ケアの体制を含めて、校務分掌との連携を図りながら、適切な取り組みがなされている。



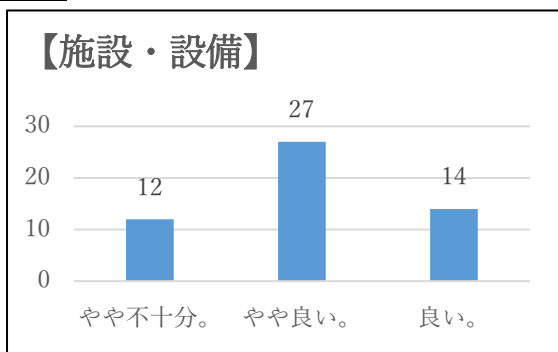
【設問 41】 上記の設問 40 について、課題、要望、改善策。
・医療的ケアにおける連携。

【設問 42】 校内緑化や危険箇所の改善に努め、児童生徒にとって適切な教育環境が提供されている。



【設問 43】 上記の設問 42 について、課題、要望、改善策。
・さまざまな場所の不具合が多過ぎる。鍵が閉めにくい、クーラーが効かない等問題山積。
・校内の敷地が狭く設備も古い中で、修繕や整備、清掃など、用務、バス部、事務の皆様にはいつも迅速に対応していただいているお陰で成り立っていると思います。

【設問 44】 教育活動に必要な施設・設備の改善・拡充に努め、児童生徒にとって安全で効果的な活用ができて

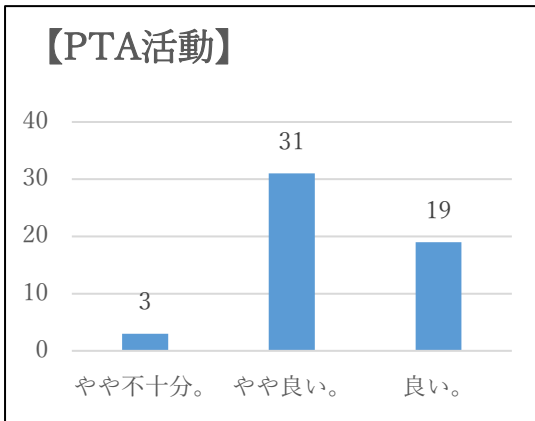


【設問 45】 上記の設問 44 について、課題、要望、改善策。
・施設や設備の老朽化が激しい。
・スロープが1つしかない。
・ネット環境が良いとは言えず、場所によっては時間を浪費することもある。(ネット環境の改善)
・新校舎の下の駐車場から児童生徒が移動する際に屋根がないので、濡れてしまう。傘で対応しているが、屋根など、設備があると安全に移動できる。

- ・行事の駐車場問題。保護者は基本的に、生徒を下ろした後は外部に止めるべきかと思います。職員の駐車場を使うのであれば、駐車場料を日割り徴収。PTA 費の活用が必要なのでは？
- ・教室等場所不足のため小学部の教室を看護師室とすることになり、看護師さんの保健衛生が守られ良かったと感じています。しかし、小学部の児童の実態の多様化が進む中で、指導の細分化が進み教室確保の必要性は高まっています。今後とも本校小学部児童のための環境を確保し、充実した指導を継続する工夫が必要と思われます。
- ・空調の不具合(老朽化)で、児童の体温や体調の管理が難しいことがあった。蟻が校舎のいたるところで大量に発生し、児童の持ち物にも侵入している。校舎の周囲にネズミがいる(糞がたくさん落ちている)。
- ・校舎が暗いように感じる。建物の造りや築年数、節電等の課題もあると思うが、廊下など常に明るくしていた方がいいのかなと思います。特に、事務室は来客が最初に訪れる所なので明るい雰囲気にした方がいいのではないのでしょうか。

- ・安全面に関する課題が多いように感じる。
- ・合同学習を行うための教室不足（視聴覚室のような特別教室が少ない）。
- ・スロープがない、外階段の幅が狭い等、学校の構造上の課題が多い。個別でクーラーの調整ができない。

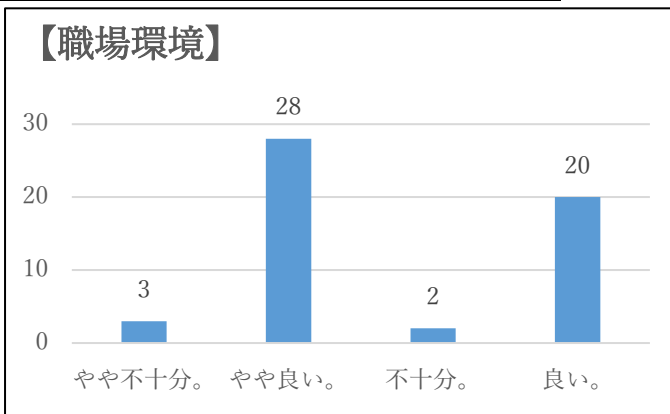
【設問 46】 保護者と教職員が協力し合い、PTA 活動が充実している。



【設問 47】 上記の設問 46 について、課題、要望、改善策。

- ・今年度もコロナ禍のため保護者は校内への立ち入りが制限されていたこともあり、教師と保護者、保護者同士の関わりが持てなかった。感染者数が減ったことにより P T A 活動が活発化しつつあるので、今後に期待。
- ・コロナ禍だからしょうがないのでしょうか・・・。

【設問 48】 教育上の課題や人間関係の問題、個人の心の悩み等について、誰もが困り感を出すことに抵抗がなく、互いに対話できる雰囲気になっている。

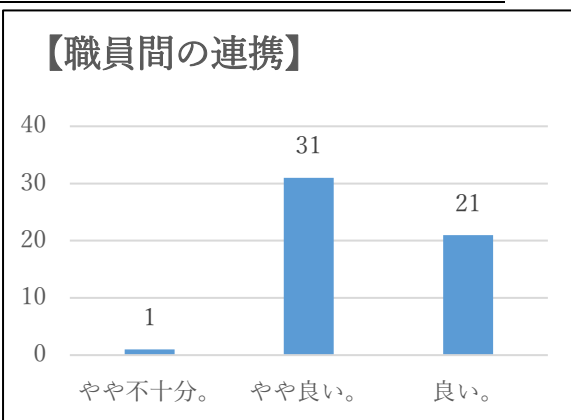


【設問 49】 上記の設問 48 について、課題、要望、改善策。

- ・コロナ禍のため、職員同士の対話の機会が無いことはある程度仕方がないとは思いますが、しかし、そのために学校として、自分として何かしているかという、何もできていません。子どもの指導について、教材研究の中で、人との対話から学ぶ良さ、お互いを認め合うことの大切さ等を伝え合う機会を作れたらと思います。

- ・密を避ける対策等で気軽に声かけや相談ができにくくなっている。
- ・学部主事の人柄が学部のよい空気をつくっているように思う。

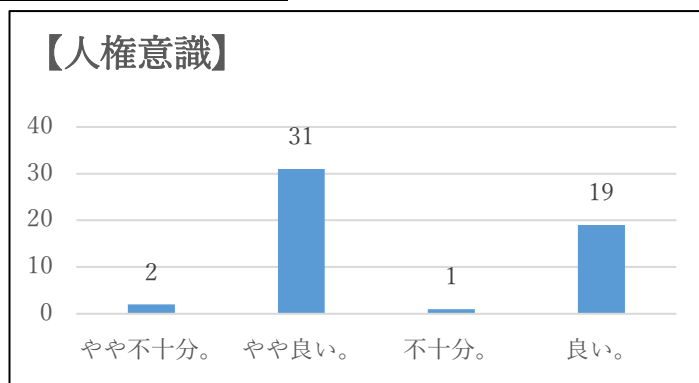
【設問 50】 各学部と校務分掌の連携が図られ、一貫性のある取り組みのもと、教職員全員が一丸となって学校の諸課題に対応することができている。



【設問 51】 上記の設問 50 について、課題、要望、改善策。

- ・コロナ禍で学部や学校全体の親睦を図る場が少なくなっている。

【設問 52】 人権意識の高揚を図るため、組織的な活動に取り組み、教職員の日頃の言動について、人権に配慮した対応となっている。



があるといいと思います。

【設問 55】 その他（自由記述）

- ・メールから開いてアンケート打ったが、何回も固まって時間がかかった。
- ・この学校評価の記入欄ですが、良い、やや良いの人も書きたければ理由を書いて良いでしょうか。具体的な理由を持って良いと思ったことを今後続けていただくためにも、理由が分かった方が良いかと思われるため。（ダメでしたら削除してください。）学校評価ですから改善点はあるにせよ、良いことについても具体的に捉え、良いことを増やしていくと言う考え方の方が、誰し、も積極的に取り組めるのではないのでしょうか。
- ・本校は他校と比べて、生徒の人数に対する職員数が恵まれている。そのため、職員の心理的ゆとりが比較的豊富で、その分、学校運営にプラスの効果を及ぼしていると感じられる。

【結果の分析】

前年度よりも回答数の減少が見られるが、今年度もほぼ全ての設問において肯定的な回答で占められている。しかし、いくつかの設問においては若干否定的な回答もみられる。

特に支援や指導に関する部分では、設問 7（個別の教育支援計画）、設問 9（家庭との連携）、設問 11（関係機関との連携）、設問 13（年間指導計画）、設問 17（学習評価）、設問 19（授業づくり）のそれぞれの回答に、コロナ禍の影響も含めて減少傾向にある対話の機会について言及されており、私たちの教育活動があらためて対話による連携を前提としていることが明らかとなっている。授業づくりや交流学习、教員間の打合せや校内研修、外部との連携等において、Web を活用したリモートの取り組みが日常化したことでの効果もアンケートの回答からは読み取れるが、リモートと対面の情報共有や情報交換については今後も目的に応じた選択ができるように考えていく必要がある。

一方で、設問 5（教育課程）、設問 13（年間指導計画）、設問 15（個別の指導計画）、設問 17（学習評価）の回答からは、指導計画の立案や授業づくりの PDCA サイクルにおける指導と評価の一体化という本校の課題に言及する内容が散見され、校内研修で取り組んできたことの成果が見られると同時に、今後に向けたアイデアの提案も見受けられる。校内研修を負担に感じる意見もあるが、軽減のための努力をしつつ、引き続き組織的かつ計画的に授業研究に取り組み、授業実践を充実させていく必要があると考える。

また設問 25（キャリア教育）についても、今年度の進路指導部の取り組みを経てもなお課題が残るとされており、さらなる継続した学部間の連携やキャリアの視点を踏まえた具体的な授業づくりについて追究していく必要がある。

今回追加した設問 27（人権教育）、設問 53（人権意識）からは、指導の難しさが指摘されると同時に指導する側の意識の向上にも言及されており、今後の授業づくりの課題が浮かび上がっていると考える。

次に組織や運営に関する部分では、設問 43（教育環境）、設問 45（施設・設備）については全年度に引き

【設問 53】 上記の設問 50 について、課題、要望、改善策。

- ・人権意識については、本校児童生徒は自分から発信する力が弱い子が多いため、受け取る意識を高めるためにももう少し定期的に取り組んでも良いように思います。また、職員同士の人権意識の向上も必要と思われます。時々自分と人との関わり方について、振り返る機会や余裕

続き課題が挙がっており、特に設問 44（施設・設備）の回答で「やや不十分」とする否定的な回答の数が他の設問と比較すると際立っている。今年度実施された空調機改修や外壁補修工事の成果を踏まえつつも（アンケート実施時期とそれらの工事の時期がずれていることもあり、その成果を実感できる手前での回答であった）、今後も残る課題に対して改善に向けた努力する必要があると考える。

設問 49（職場環境）、設問 51（職員間の連携）の回答に関しては、依然としてコロナ禍の影響を受けていると見られ、コミュニケーション不足の問題において、感染症対策が継続する中でそのような機会をいかに保障していくかが引き続き問われていると考える。組織的な対応を含め、親睦的なコミュニケーションを模索しつつ、教職員個々の悩みに丁寧に対応していく必要がある。